

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			プレースペース、創作室等、利用定数に適したスペースが確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			利用人数に応じた適切な配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		室内バリアフリーで対応している。玄関前少し段差がある為、状況に応じて対応する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			他教室とも連携を図りながら、職員間でも日々の業務を振り返り、業務改善に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表を用いて、保護者様の意見、要望を把握し、日々の業務改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			顧問医師による指導や評価を受け、業務改善に努めている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修会を行い、資質向上につなげている。外部の研修にもズームにて参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			一人ひとりに合った計画を保護者様の意向を入れながら計画している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			利用者様の特性の把握や能力の情報を得るために有効に活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			教室内の職員で情報共有しながら、適切な支援ができるようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節観や個々の様子を見ながら、職員で話し合い活動内容を工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			イベントや野外活動等、活動内容を設定し、無理のない範囲で支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の姿や特性に合った計画ができるよう、職員間で情報共有して作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前に職員間でミーティングを行ない、子どもたちの様子の振り返りや支援、スケジュールについて確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後または、翌日の支援前に振り返りを行い、情報を共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		支援についての記録をとり、日々の支援につなげていくようにする。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングを実施し、支援や計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインの総則や教室の特性に沿った支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			教室内で、ふさわしい職員が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校からのお便り、送迎時の担任の先生からの情報共有にて確認や調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在は該当なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学時に担当者会議を行い、適切に対応している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	該当なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要時に連絡を取り合っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	コロナ禍により、実施なし。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			放課後デイサービスの交流会等子ども部会への参加を通して、協議会への現場の声を届けている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時にて、子どもたちの様子を情報共有するように努めている。必要に応じて、面談も行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ペアレント・メンターの研修会等を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時の説明やしおり、ホームページ等で情報を公開している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			お迎え時や電話等で情報を共有し支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナ禍により開催ができなかったが、今後また開催していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談があった際は迅速に対応するようになっている。相談があったことについて職員間で共有し、適切な対応ができるようにし、ホームページにも公開する予定である。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に1回メグシ通信を発行し、保護者様にお配りしている。教室だよりも発行していく。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報について適切に管理できるよう研修を行い対応している。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎時やお迎えの時に情報交換をしたり、必要に応じて連絡ノートを用いている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			新教室の上棟祭や完成時の内覧会に来ていただいた。今後も地域の方々に声をかけ、積極的に交流がもてるように事業を展開していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			しおりや一斉メール等で、保護者様への情報開示を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		月に1回教室ごとに訓練を行うように取り組んでいく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止についての研修を行い、適切な対応や判断ができるようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		やむを得ず身体拘束を行う児がいる場合は、保護者様にも説明を行い、計画書にも記載するよう取り組んでいきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		個人調査票に記入していただき、必要に応じて、対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ミーティング等で職員と共有し、対策を話し合って改善につなげている。